

レッドフラッグを活用した通信指令員のスキル向上ワークショップ

～通信指令員版 救急脳のつくり方～

内容：レッドフラッグは、総務省消防庁緊急度判定プロトコル Ver. 3 で表記されている、指令員がまず聴取すべきキーワードに相当する。講師はこれまでにレッドフラッグ（見逃してはいけない疾患を示唆する症状や所見）を活用した救急救命士向けの臨床推論ワークショップを展開してきた。昨年当シンポジウムで好評だった通信指令員版ワークショップを、さらにバージョンアップして開催します。複数の事例を、通信指令員と伝達を受ける救急救命士、両方の役割を体験しながら、レッドフラッグへの理解を深めるワークショップです。所属部署での教育手法の参考にもなるコースです。

対象：通信指令員、救急隊員、救急救命士、指導救命士

開催時間：①13:10-14:10、②15:20-16:20 * 同内容

定員：各回 30 名 事前申し込み制。初参加の方を優先します。

* 当日見学あり。空席があれば参加可能です。

講師：望月礼子（鹿児島大学 救急・集中治療医学分野 非常勤講師）

インストラクター：救急救命士

参考テキスト： 復習にご活用ください

- 1) 望月礼子. 救急隊版エマージェンシー臨床推論 救急脳のつくり方.
東京法令出版、2022 年
- 2) 望月礼子. 救急隊版エマージェンシー臨床推論 2 もっと救急脳のつくり方.
東京法令出版、2024 年

申し込みリンク： <https://forms.gle/fyAmh2sGfWx2CB2S7>

2026通信指令シンポジウム・



ワークショップ